

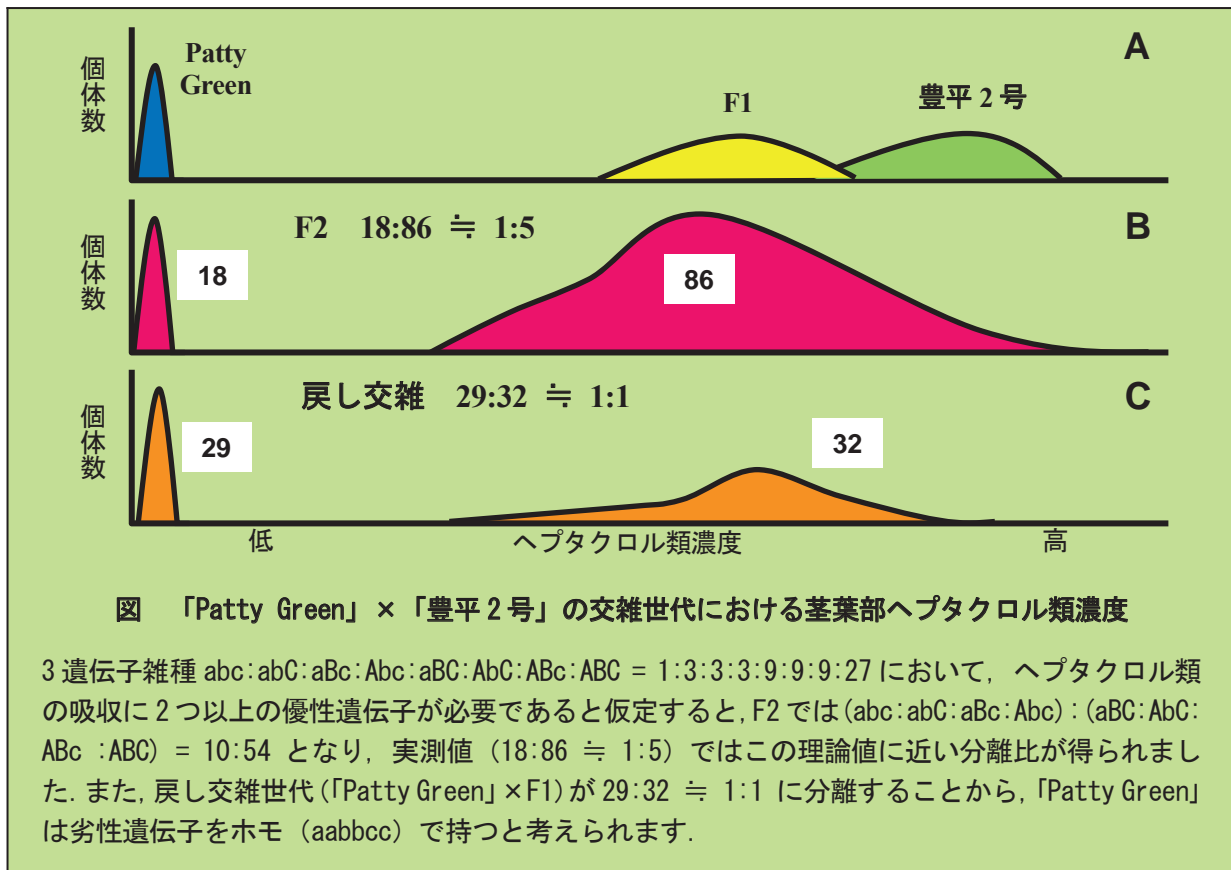
## カボチャのヘプタクロル類吸収性の遺伝様式

### 【成果の特徴】

カボチャ (*Cucurbita pepo* L.) について、ヘプタクロル類低吸収性品種と高吸収性品種を掛け合わせた F1, F2, 戻し交雑世代の吸収性を調査した結果、カボチャにおけるヘプタクロル類吸収性の遺伝様式が明らかになりました。

### 【成果の内容】

ヘプタクロル類低吸収性品種「Patty Green」と高吸収性品種「豊平2号」を用いて、F1, F2 及び戻し交雑世代におけるヘプタクロル類の吸収性を調査しました。F1 は不完全優性遺伝（高吸収側に部分優性）を示し（図 A）、F2 は低吸収側と高吸収側に 1:5 に分離し（図 B）、戻し交雑は低吸収側と高吸収側に 1:1 に分離しました（図 C）。以上のことから、ヘプタクロル類の吸収には3つの遺伝子が関与し、このうち2つ以上の優性遺伝子が必要であること、「Patty Green」は低吸収の遺伝子を劣性ホモで持つこと、が推測されました。これらの知見を活かして、ヘプタクロル類低吸収性カボチャ品種の育成が期待されます。



### 【研究担当者氏名（所属機関名）】

杉山慶太・嘉見大助（(独) 農研機構北海道農研）、清家伸康・大谷卓（(独) 農環研）